



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月8日

上場取引所 東

上場会社名 セントケア・ホールディング株式会社

コード番号 2374 URL <https://www.saint-care.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤間 和敏

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 瀧井 創 TEL 03-3538-2943

四半期報告書提出予定日 2021年2月15日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有 (アナリスト及び機関投資家向けに動画配信を予定しております)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	34,470	6.8	2,348	96.2	2,319	113.7	1,377	92.6
2020年3月期第3四半期	32,282	4.4	1,197	△24.4	1,085	△18.5	715	△8.7

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 1,385百万円 (90.0%) 2020年3月期第3四半期 729百万円 (△9.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	55.29	54.69
2020年3月期第3四半期	28.82	28.45

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	25,956	12,169	46.5
2020年3月期	23,662	11,141	46.6

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 12,072百万円 2020年3月期 11,015百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期 (予想)	—	—	—	16.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,433	5.2	2,739	86.6	2,674	96.6	1,569	89.0	62.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	24,965,786株	2020年3月期	24,828,786株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	168株	2020年3月期	168株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	24,922,774株	2020年3月期3Q	24,828,618株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想に関する事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、経済活動が大きく制限され、厳しい状況で推移しました。第2四半期以降は政府による経済対策もあり徐々に持ち直しの動きは見られたものの、当第3四半期では感染再拡大の傾向が強まり、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く経営環境は、少子高齢化の進行を背景に今後も高齢者人口の増加が見込まれるなか、高齢者が要介護状態となっても住み慣れた地域で生活が続けられるよう、市町村がそれぞれの地域介護の課題を分析し、自主性や主体性をもって地域の特性に応じた地域包括ケアシステムを構築する取り組みが進んでおります。その一方で、生産年齢人口の減少とともに人材の確保がより一層厳しさを増しており、重要な経営課題となっております。また、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、医療・介護業界は社会インフラとしての役割を果たすべく、サービスの安定供給の確保がより一層求められており、当社グループとしましてもお客様、従業員及びその家族の安全確保、感染予防、感染拡大防止対策を講じ、事業継続に向けた対策を徹底してまいりました。引き続き安全確保に取り組み、サービス継続に努めてまいります。

当社グループは、介護サービスの領域におけるお客様の多様なニーズに対応した付加価値の高いサービス・商品を幅広く提供しております。このような事業展開により、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、感染再拡大により、主に施設系サービスの一部の拠点ではサービスを休止する等の状況は発生しているものの、適時、安全確保に向けた対策を講じながら、サービス全体としましては順調に集客が進みました。特に訪問入浴や訪問看護等の訪問系サービスのニーズは引き続き高く、お客様数やサービス利用回数が伸長しました。また、前期において積極的に進めた新規出店が堅調に成長したこともあり、売上高は344億70百万円（前年同期比6.8%増）となりました。

利益面においては、ITを活用したWEB会議やリモートワーク等による業務効率化を推進するとともに、仕入れや外注派遣費等の見直しにも取り組んだことで各種経費が抑制され、売上原価と販売費及び一般管理費の売上高に占める割合はともに減少いたしました。

この結果、営業利益は23億48百万円（同96.2%増）、経常利益は23億19百万円（同113.7%増）と増益となりました。また、当第3四半期において、社会インフラの役割を担う従業員の真摯な取り組みとその成果に対するお見舞金として1億34百万円を支給したほか、投資有価証券については、減損処理による投資有価証券評価損1億77百万円をそれぞれ特別損失に計上し、親会社株主に帰属する四半期純利益は13億77百万円（同92.6%増）となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメントの経営成績を示すと、次のとおりであります（セグメント間取引を含む）。

・介護サービス事業

介護サービス事業においては、新型コロナウイルス感染症の拡大により訪問系サービスが見直される契機ともなり、訪問入浴においては、お客様数の増加や稼働の向上により売上を大きく伸ばすとともに、外注派遣費の見直し等の経費抑制に取り組んだことで増益となりました。また、訪問看護においても前期に開設した16ヶ所の営業所が堅調に成長したことで売上を大きく伸ばすとともに、人材紹介料等の経費が抑えられたことも収益に寄与いたしました。

施設系サービスでは、デイサービスにおいて新型コロナウイルス感染症の拡大によりお客様の利用控えや一部の営業所で休止する等の影響があり減収減益となりました。一方で、看護小規模多機能型居宅介護では今期7ヶ所の開設を進めたことで営業所数は34ヶ所となっており、前期に開設した10ヶ所の営業所を含む既存営業所が順調に成長したほか、小規模多機能型居宅介護においても堅調に推移したことから、全体として増収増益となりました。

その結果、売上高は337億36百万円（前年同期比6.9%増）、営業利益は19億10百万円（同73.5%増）となりました。

・その他

その他においては、セントワークス株式会社で担っていたバックオフィス業務をセントケア・ホールディング株式会社へ移管したことから、売上高及び営業利益が減少しました。この結果、売上高は10億40百万円（前年同期比14.3%減）、営業利益は69百万円（同58.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末(以下「前期末」という)より22億94百万円(前期末比9.7%)増加し、259億56百万円となりました。

流動資産は、前期末より28億46百万円(同27.2%)増加し、132億97百万円となりました。これは主に流動資産「その他」に含まれております未収入金が1億68百万円減少した一方で、現金及び預金が16億3百万円、売掛金が13億99百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、前期末より5億52百万円(同4.2%)減少し、126億59百万円となりました。これは主に投資その他の資産が2億92百万円、無形固定資産が1億44百万円、有形固定資産が1億15百万円減少したことによるものであります。

流動負債は、前期末より7億39百万円(同12.4%)増加し、67億23百万円となりました。これは主に賞与引当金が5億13百万円減少した一方で、未払金が7億94百万円、流動負債「その他」に含まれております預り金が2億93百万円、1年内返済予定の長期借入金が2億3百万円増加したことによるものであります。

固定負債は、前期末より5億27百万円(同8.1%)増加し、70億64百万円となりました。これは主にリース債務が1億53百万円減少した一方で、長期借入金が6億3百万円、退職給付に係る負債が79百万円増加したことによるものであります。

純資産は、前期末より10億27百万円(同9.2%)増加し、121億69百万円となりました。これは主に利益剰余金が10億5百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間における業績を踏まえたうえで、通期の業績予想については、2020年11月9日に発表いたしました数値を修正しております。

詳細につきましては、本日(2021年2月8日)の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,196,933	5,800,037
売掛金	5,361,651	6,761,392
たな卸資産	57,713	78,775
その他	849,586	678,808
貸倒引当金	△14,385	△21,350
流動資産合計	10,451,499	13,297,663
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,459,118	3,873,829
リース資産(純額)	3,173,373	3,062,325
その他(純額)	1,656,261	1,237,134
有形固定資産合計	8,288,753	8,173,288
無形固定資産		
のれん	256,863	213,710
リース資産	16,519	13,422
その他	594,596	496,635
無形固定資産合計	867,979	723,768
投資その他の資産		
差入保証金	2,146,483	2,127,972
その他	1,908,105	1,634,258
投資その他の資産合計	4,054,589	3,762,231
固定資産合計	13,211,321	12,659,288
資産合計	23,662,820	25,956,951
負債の部		
流動負債		
買掛金	488,410	475,920
1年内返済予定の長期借入金	625,342	828,832
リース債務	206,285	205,132
未払金	2,633,851	3,428,564
未払法人税等	332,831	307,195
賞与引当金	1,119,833	606,151
その他	577,197	871,457
流動負債合計	5,983,752	6,723,253
固定負債		
長期借入金	1,349,032	1,952,602
リース債務	3,533,764	3,380,500
退職給付に係る負債	1,328,663	1,407,761
資産除去債務	111,443	113,149
その他	214,631	210,579
固定負債合計	6,537,536	7,064,594
負債合計	12,521,288	13,787,847

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,734,050	1,757,048
資本剰余金	1,682,077	1,705,075
利益剰余金	7,624,501	8,629,979
自己株式	△92	△92
株主資本合計	11,040,536	12,092,010
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△30	—
退職給付に係る調整累計額	△25,245	△19,307
その他の包括利益累計額合計	△25,275	△19,307
新株予約権	111,912	80,584
非支配株主持分	14,358	15,816
純資産合計	11,141,532	12,169,104
負債純資産合計	23,662,820	25,956,951

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	32,282,853	34,470,426
売上原価	28,292,323	29,358,729
売上総利益	3,990,529	5,111,697
販売費及び一般管理費	2,793,370	2,763,307
営業利益	1,197,159	2,348,390
営業外収益		
受取利息	4,049	3,822
受取配当金	1,763	276
受取保険金	12,621	12,970
受取家賃	22,308	24,737
補助金収入	12,829	42,514
助成金収入	16,579	14,405
その他	20,043	34,989
営業外収益合計	90,194	133,716
営業外費用		
支払利息	113,049	116,945
持分法による投資損失	61,745	27,139
その他	27,113	18,433
営業外費用合計	201,909	162,518
経常利益	1,085,444	2,319,588
特別利益		
固定資産売却益	134	10
補助金収入	84,231	423,276
投資有価証券売却益	18,003	—
持分変動利益	41,435	36,412
特別利益合計	143,803	459,700
特別損失		
固定資産除却損	1,489	1,220
固定資産圧縮損	80,908	423,112
投資有価証券評価損	—	177,480
減損損失	—	3,834
新型コロナウイルス感染症に係る見舞金	—	134,244
その他	6,000	—
特別損失合計	88,398	739,890
税金等調整前四半期純利益	1,140,850	2,039,397
法人税等	422,495	660,032
四半期純利益	718,354	1,379,365
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,824	1,457
親会社株主に帰属する四半期純利益	715,529	1,377,907

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	718,354	1,379,365
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	30
退職給付に係る調整額	10,954	5,938
その他の包括利益合計	10,954	5,968
四半期包括利益	729,308	1,385,333
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	726,483	1,383,875
非支配株主に係る四半期包括利益	2,824	1,457

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。